

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成19年度採択）

事後評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
19-3	各種道路橋床版における疲労損傷の非破壊検査システムに関する研究開発	大阪大学大学院 教授 鎌田 敏郎	B

<研究の概要> ※成果報告レポートより引用

道路橋に使用される主要な床版（RC床版，鋼床版）に発生する疲労損傷の中で、現場での目視確認が困難な為に大きな問題となっている損傷を対象とし，高精度検出できる効率の高い非破壊検査システムを構築する。

<事後評価結果>

衝撃弾性波法については、適用限界や精度面の信頼性、コスト評価などさらなる検討が必要と考えられる一方、赤外線サーモグラフィ法については高く評価できる成果があったと考えられる。他方、電場指紋照合法については、本プログラムでの研究成果が確認できない。以上から、総体的には研究目的は概ね達成され、研究成果があったと判断する。

<参考意見>

- ・ 非破壊検査は現下の道路行政における重要な課題の一つであり、維持管理の高度化・効率化を図るため、引き続き実構造物等での検証とコスト面の評価を行い、適用性の高い検査手法が見出されていくことを期待する。